

市の人口	男	129,893人
	女	139,846人
	計	269,739人
	世帯数	67,274
(7月1日現在)		



市民生活		平均 (昭和29年)	
出生	1日	14.5人	飲食店 91世帯 1店
死亡	1日	3.7人	電話 7.7世帯 1基
転入	1日	7.6人	ラジオ 2世帯 1台
転出	1日	64人	乗用車 143世帯 1台
結婚	1日	5.6組	電 車 906世帯 1台
離婚	1日	0.7組	ガ ス 9.3世帯 1基
映画	1人当	年14回	生活扶助 27.7世帯 1世帯
火事	1日	0.3件	市 税 1人当 2,003円

躍進する鹿児島市



昭和20年8月15日。この日は私達の心に激烈な衝けきをあたえた—忘れられない思い出の日であった。そしてそれは、又大きな試練によつて日本の歴史を塗りかえた運命の日でもあった。

それから10年は経つたのである。その10年間は私達市民にとつて全く汗と涙の苦闘、けわしい茨の道であつた。想い出しても肌寒さを感じるような苦しい生活の連続であつた。しかし、みんな、よく頑張つて、よく耐え忍んだ。その結果、今では、もう多少の余裕をもつて過去をふりかえることが出来るような状態になつた。

なつた。

私達はこの敗戦によつて初めて自分の本当の弱さ、本当の強さをしみじみと体験したのである。

この期間に街の様子もスツカリ変つた。

当時、見渡すかぎりの焼野が原であつた市街地は今や、昔の面影をとどめないまでに整然と区画されている。そこには新設の巾広い道路が四通八達し、現在豪華なバスや新型電車も縦横に疾駆している。

素晴らしい学校も建築された。ビルも建つた。モダンな商店街もできた。繁華街天文館は昔以上のネオン

きらめく賑やかさである。このように凡ては復興した

鹿児島市は、いまや古い殻を脱して新しい時代の息吹が街の隅々まで満ち溢れている。ここに新しい鹿児島、躍進する鹿児島市がお互の力によつて見事に誕生したのである。いや、現在すくすくと生長しているのである。

10年目の終戦記念日を迎え私達は、あのような悲劇を再び繰りかえさないようにシツカリと心にとめておきたい。そして本市の発展を期したい。

これが希望である。



われらの郷土

(11)

わたくしたちは
郷土を愛します

私たちは郷土に育ち、郷土に生活している。

私たちは郷土にかけがえない愛情をもつ。

私たちは郷土が少しでも発展し、少しでも住みよくなることを望みます。

私たちが郷土をよく知ることにより郷土を愛することになります。

そのような郷土とは一体どんなところなのだろうか……。

こんどは第二次世界大戦の慰霊碑をお知らせいたします。

第二次世界大戦敵 味方戦亡者慰霊碑

終戦のとき生れた子供はすでに小学校四年生になっています。

歳月のたつのは早いもので、あれから十年もたちました。しかし

あのころの思い出はまだまだ生き生きとみなさんの記憶に残っていること、この赤十字精神に基き、第二次世界大戦のとき生れた子供はすでに小学校四年生になっています。

これは日本における赤十字精神の立派な見本として世界各国に有名になっています。

この中央公園に建てられたのもこの赤十字精神に基き、第二次世界大戦のとき生れた子供はすでに小学校四年生になっています。

これは日本における赤十字精神の立派な見本として世界各国に有名になっています。

これは日本における赤十字精神の立派な見本として世界各国に有名になっています。

これは日本における赤十字精神の立派な見本として世界各国に有名になっています。

これは日本における赤十字精神の立派な見本として世界各国に有名になっています。

これは日本における赤十字精神の立派な見本として世界各国に有名になっています。

これは日本における赤十字精神の立派な見本として世界各国に有名になっています。

これは日本における赤十字精神の立派な見本として世界各国に有名になっています。

これは日本における赤十字精神の立派な見本として世界各国に有名になっています。

これは日本における赤十字精神の立派な見本として世界各国に有名になっています。

これは日本における赤十字精神の立派な見本として世界各国に有名になっています。

これは日本における赤十字精神の立派な見本として世界各国に有名になっています。

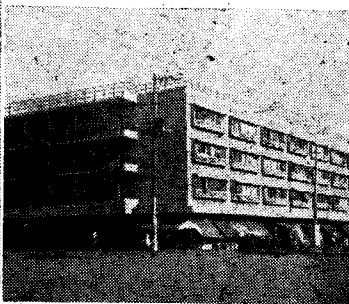
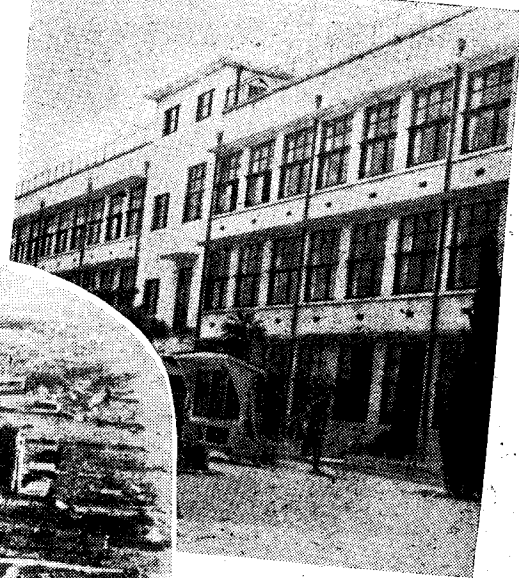
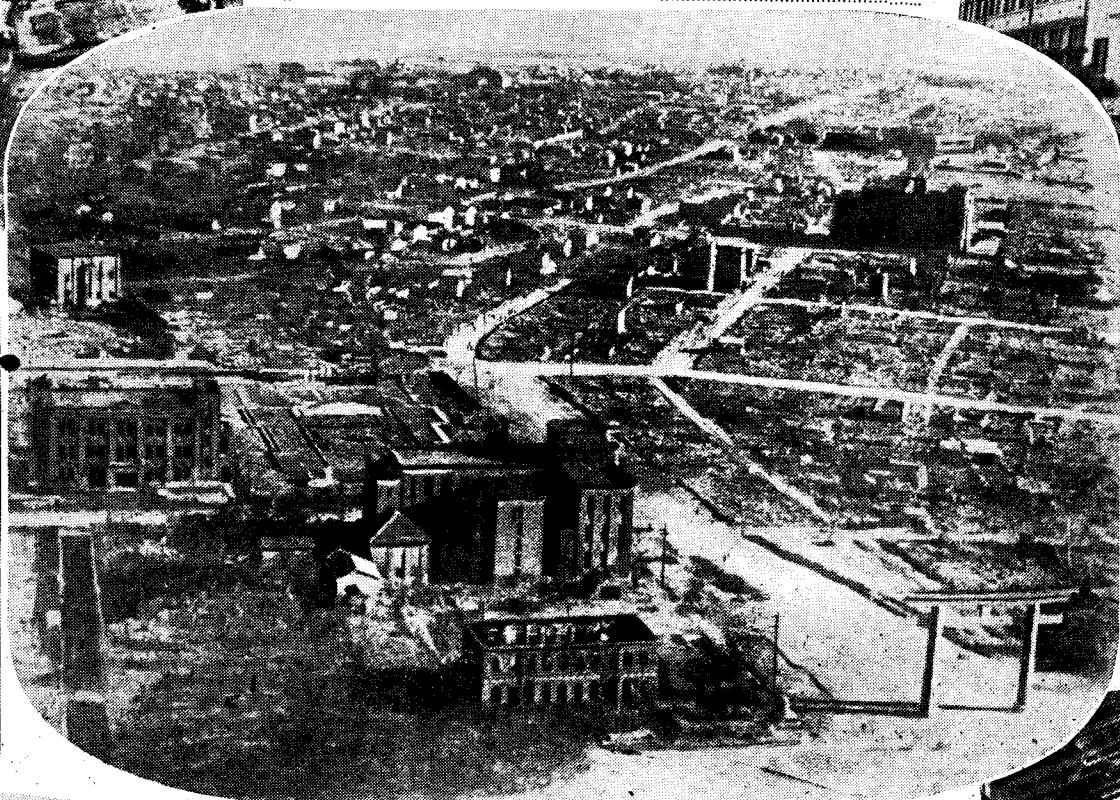
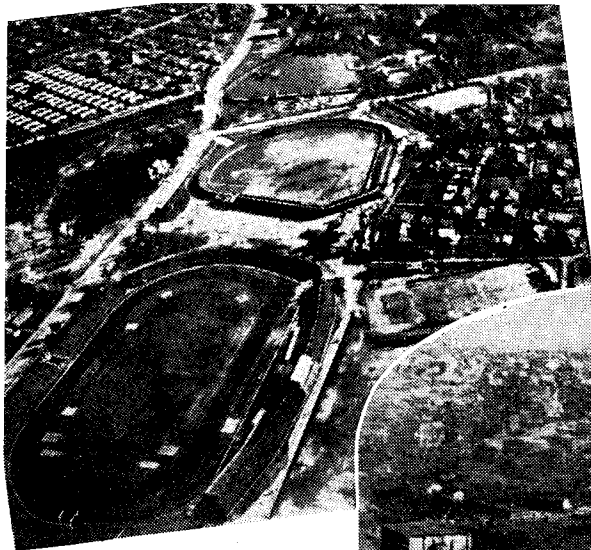
これは日本における赤十字精神の立派な見本として世界各国に有名になっています。

これは日本における赤十字精神の立派な見本として世界各国に有名になっています。

あれから10年復興のあじあと

復興写真集

終戦直後の市内は見渡す限り焼野ヶ原で市街地の中心地は芋畑麦畑となっていました。しかし市民のたゆまない努力で今は殆んど復興しました。



写真説明

- 〔中央〕戦災直後の中心街をまはる熊国神社の鳥居
- 〔右上〕モデルスクール、松原小学校
- 〔左〕鴨池総合グラウンド
- 〔右〕住宅協会の店舗付アパート
- 〔左下〕祇園の洲の市営アパート
- 〔右下〕納屋通りのアーケード
- 〔左下〕メインストリート、いづる通り
- 〔中央下〕城山から見た中心街の夜景

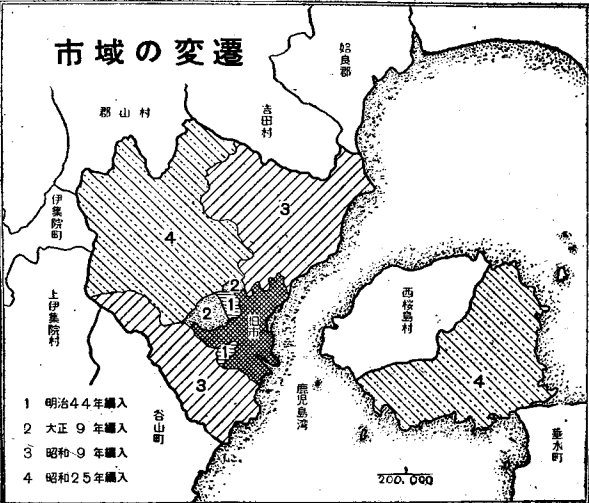
戦災の概要

- 市街地面積 三三〇万坪
- 罹災面積 三三七万坪
- 罹災前戸数 三八、八〇〇戸
- 罹災戸数 二二、〇〇〇戸
- 全焼 二二、〇〇〇戸
- （約九三％）
- （約五七％）
- 半焼 二〇、五〇〇戸
- 全壊 六九〇戸
- 半壊 六四〇戸
- 罹災前人口 一九七、六〇〇
- 疎開後 一七五、〇〇〇
- 罹災人口 一二五、〇〇〇人
- （約六六％）
- 死者 二、四〇〇人
- 傷者 一、八〇〇人
- 行方不明 四〇人

戦後十年の人口動態

- 昭和二十年 九一、五三八
- 二十一年 一五五、一四九
- 二十二年 一七三、八八一
- 二十三年 一八〇、五〇七
- 二十四年 一九二、三三三
- 二十五年 二二一、二五五
- 二十六年 二二七、九〇八
- 二十七年 二四七、三七五
- 二十八年 二五五、二〇一
- 二十九年 二六四、二五七
- 三十年 二六九、七三九

市域の変遷



お知らせ

終戦十年記念行事、山下町中央公園内第二次世界大戦敵味方戦死者慰霊碑前で午前九時から慰霊祭、夜は映画会

毎週土曜日鴨池山納涼バスと鴨池動物園夜間開園

美術館迎八相及び仏展八月末日まで

市 民税県民税第二期三十一日まで

キ ヤンブ東松島古里公園八月末日まで

昭 和二十九年度市勢要覧写真オフセット印刷一部一五〇円経務課統計係

青 年体育祭八月二十一日鴨池グラウンド

郷土史の総合普及版

- 地形と地質
- 先史時代
- 奈良平安時代の鹿兒島
- 島津氏入国と守護町時代
- 城下町時代の鹿兒島
- 明治維新
- 市制施行後の鹿兒島

【執筆】
紀四村 稲村 河有
野本 野葉 田口 田
健 健守 行 貞 忠
一 郎 光治 雄 輝 徳 雄



発賣中！
部数が少ないので
早目に！

勝目 清

古代の鹿兒島から現在までの鹿兒島のおいたちを纏めた 必見の書

鹿兒島のおいたち

発行所 鹿島市
鹿島 800円